

万引きの現状

県内の犯罪の件数は、12年連続で減少していますが、万引きは多少の増減を繰り返しながら、ほぼ横這い状態が続いています。【図1参照】
万引きで検挙された者を年齢別で見ると、19歳以下の少年が28.3%で、全体の約3割を示しています。【図2参照】
この背景には、「万引きは犯罪で

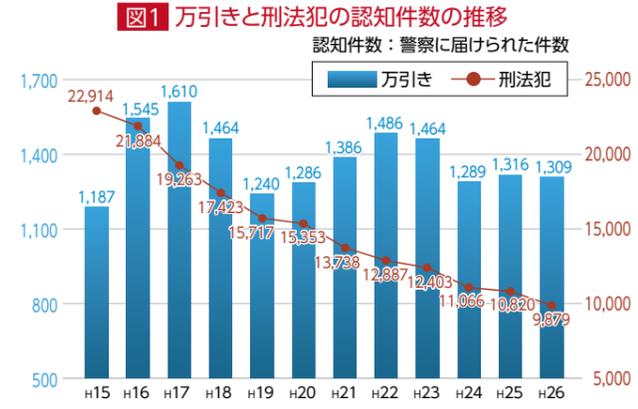
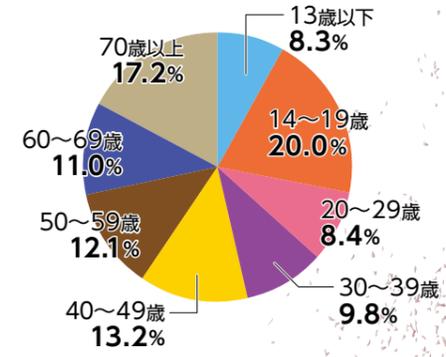


図2 万引き犯の年齢別構成 (平成26年中)



あることこの認識の甘さにより、安易に万引きをする者が後を絶たないという状況があります。犯罪のない安全で安心な沖縄県の実現を目指す取組みの一つとして、万引き防止対策の強化が求められています。
重大犯罪にエスカレート
万引きは犯罪の入り口、いわゆる「初発型犯罪」といわれています。少年が万引きを繰り返すことで、犯罪に対する抵抗が薄れ、空き巣やひったくりなどにエスカレートするおそれがあります。

万引きをすると 窃盗罪 10年以下の懲役 又は、50万円以下の罰金

県警からのお願い

- 来店客などに対しては、店員による挨拶など、積極的な声掛けを行いましゅう。
- 万引きは、店員から見えない場所で商品を取ります。
- 店内レイアウトは、死角をなくすよう心掛けましゅう。死角が解消されない場合は、防犯カメラや鏡などを活用しましゅう。
- 万引き犯は、店員から見えない場所で商品を取ります。
- 来店客などに対しては、店員による挨拶など、積極的な声掛けを行いましゅう。
- 万引きは、店員から見えない場所で商品を取ります。
- 店内レイアウトは、死角をなくすよう心掛けましゅう。死角が解消されない場合は、防犯カメラや鏡などを活用しましゅう。
- 万引き犯は、店員から見えない場所で商品を取ります。



お問い合わせ 県警察本部 生活安全企画課 電話:098-862-0110(代表)

シリーズ③ 繁多川の島豆腐

沖縄の食文化を彩り、存在感を放つ島豆腐

一丁が1キロ近くあり、重量感たっぷりの島豆腐。炒めてもあまり形の崩れない硬めの豆腐はチャンプルーをはじめ、さまざまな料理に使われます。また、豆腐を枠に入れて固める前のふわふわと柔らかなゆし豆腐も人気の一品。形に違いはありますが、どちらも同じ島豆腐で、沖縄の食生活を支えてきた食材です。

那覇市繁多川は古くから豊富な湧き水を利用した豆腐作りが盛んで、豆腐処として知られる地域。ひと頃比べると店舗はかなり少なくなりましたが、伝統ある繁多川の豆腐文化を発信しようと自治会による昔ながらの豆腐作りの体験講座の開催や、製造業者が協同で商品開発を行うなど、豆腐による地域づくりに力を入れています。

時を経て、さらに愛される島豆腐。伝統の味わいはこれからも県民の食卓を賑わせ続けます。



ふるさと食卓

健康な笑顔の素・食と体づくり 那覇市

健康づくり協力店を認証しています。
那覇市では、市民の肥満の割合が増えていることからヘルシーメニューを提供する飲食店を健康づくり協力店として認証する取り組みを始めています。これは市が設けた一定の基準に照らしてカロリー控えめの料理や野菜たっぷりのメニューなどを提供する店を認証し、外食の際に役立ててもらおうというものです。現在64店舗が認証(27年3月末時点)されています。



認定店には、認証板等が交付されます。
*新規登録店舗を募集しています。お問い合わせは那覇市保健所健康増進課(098)853-7961まで